令和6年度 第3回 浜松市立西気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年11月26日（火） 15時00分から15時55分まで
- 2 開催場所 西気賀小学校 図書室(竜宮館)
- 3 出席委員 柴田昌男、山崎和久、西岡由紀子、杉浦雅巳、柳瀬幸一、名倉敦子、
縣智美
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 村松昌彦(校長)、徳増弘宣(教頭)
間渕由利子(CS ディレクター)
- 6 教育委員会 牧野知子(教育総務課)
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 間渕由利子
- 9 議長の選出 出席委員の中から互選で西岡委員が議長を務めることになり、全員意義
なくこれを承認した。
- 10 前回会議録確認 CS ディレクター間渕より、手元資料を参照し前回の内容確認した。
- 11 熟議

各グループの討議内容は以下の通り

★西気賀っ子に、どんな力が必要か

A グループ(柴田委員・杉浦委員・名倉委員・村松校長・間渕 CS ディレクター)

○来年度どんなところに力を入れていく必要があるのか

- ・小規模校の魅力、複式学級の魅力をどんどん外部に発信していく。そのために何ができるか考える。→複式学級についての勉強会があってもよいと思う。
- ・西気賀っ子が自分の地域のことだけでなく、他地域のことについて知ること必要だと思う。→視野を広く持ち他地域の人と関わることで自分の地域の良さを再確認し、自信につなげる。
- ・今年度は子供たちの企画力を高める活動を多く取り入れていたようで、今後も継続して発展させていったらよいと思う。そのためには人の話を聞き、意見をしっかりと聞く。自分の意見についても周囲に伝えることも大切。
- ・和船活動によって子供たちが達成感を得られそれが自信につながっていると思うので、継続的に活動をしていけたらよい。
- ・今後の学校教育について～成績に表れない力→社会性・生きる力を身につけるためにどうすればよいのかを学んでほしい。人の話を聞く・苦しいこと、辛いことも耐えてやり抜く力(忍耐力)をつける必要がある。加えて協調性・社交性等も必要になってくると思う。

B グループ(山崎委員・西岡委員・柳瀬委員・縣委員・徳増教頭)

○来年度どんなところに力を入れていく必要があるのか

- ・今年度の活動を通して子供たちの企画力を高めることができていると思う。従来の企画力プラスアルファで今後も継続して経験したり活動したりしていくことが大切。
- ・縦割り活動を積極的に取り入れ学年を越えた交流・活動をすることで企画力が高まったのではないかと。これも小規模校だからこそ頻繁に活動できるのではないかと。異学年交流活動を通して子供たちの企画力がますます高まり、自信につながると思うので今後も継続することが大切。いろいろな気付きによって子供たちの可能性を高めることもできる。
- ・和船は西気賀小の特色であり素晴らしい活動。西気賀っ子にとってもとても大切な活動で和船を経験した上級生からこれから活動する下級生へアドバイスをし、自分自身の経験を伝えるということが出来る。それは人格形成や社会性を身に付ける上でとてもよいこと。今後も継続して活動して欲しい。

12 その他連絡事項

司会の徳増教頭より今後の活動予定について報告があった。

○第4回学校運営協議会

日時 令和6年2月14日(金)15:00～16:00 (同日に発表会・懇談会有り)

内容 令和7年度学校運営基本方針、学校関係者評価、自己評価

○持久走記録会

日時 令和6年12月17日(火)9:00～9:45 (予備日：12月18日)

場所 西気賀小学校運動場・サイクリングロード

○にしきがっ子発表会・懇談会

日時 令和7年2月14日(金) 午後 西気賀小学校